

## 国分寺市障害者計画（第3次）の振り返り

国分寺市障害者計画（第3次）では、以下の5つの基本目標を掲げ、その達成に向けた取組を進めてきました。

### 「基本目標1 自分らしい暮らしへの支援体制づくり」

相談支援総合調整会議を設置し、福祉に関する相談窓口の総合的な運営と横断的な相談支援体制の連携強化を図りました。また、障害者地域自立支援協議会の設置により、関係機関のネットワーク体制が強化されました。一方で、相談支援の量的・質的な確保はまだ十分とは言えず、今後も継続的に取組んでいく必要があります。

乳幼児健康診査などの推進により、こどもの発達センターつくしんぼの事業等につなぐことで、障害児の発達支援に取り組んでいます。今後も切れ目のない支援体制を整備するために、更なる取組の推進が必要です。

### 「基本目標2 自分らしい社会参加や学びへの支援」

市立小学校全校への特別支援教室の設置や市立小・中学校全校へのサポート教室の設置など、障害に応じた教育を受ける体制を整備しました。今後も特別支援学級及び特別支援教室での指導・支援の更なる充実が必要です。

また、より多様なニーズに対応するため、文化芸術活動やスポーツの推進などを含めた余暇活動の充実が必要です。

### 「基本目標3 自分らしい働きかたへの支援」

障害者就労施設等からの優先調達の推進や市役所での職場体験実習など就労の場の確保に努めました。今後は、障害のある人の就労支援施策の推進を更に図るとともに、地域の雇用創出を目的とした事業の検討を進めていく必要があります。

### 「基本目標4 共に生きる地域社会づくり」

障害者週間行事などの啓発事業の取組への工夫や情報提供体制の充実を図りました。今後も幅広い人々に障害に対する理解や配慮の促進を図るとともに、バリアフリー化等、新たなユニバーサルデザインを推進していく必要があります。

防災まちづくりの取組等、災害時の支援体制について整備を図りました。今後も支援体制の現状を改めて確認し、災害時に迅速に対応できるよう、更なる取組の推進が必要です。

### 「基本目標5 自立を支援する人づくり」

多種多様なニーズに対応できるよう、事業者向けの研修など、サービスの質の向上を図りました。しかし、障害福祉サービスの人材不足は深刻であり、サービス提供事業所等とも協力して、広報活動などを進める必要があります。